



「非核平和パネル展」を開催 8月5日(月)~24日(土) ~ 8/10(土) 13時~「かみしばい」 & 14時~「戦争体験講話」~



94歳を迎えた山崎さん

戦争が終わって74年目を迎えています。「平成」から「令和」と元号が変わりましたが、戦争の悲惨さ、平和の大切さを忘れないために、総持寺愛センターでは、毎年、終戦記念日に合わせて、「非核平和パネル展」を開催しています。今年は、8月5日~24日(10日までとしていましたが好評につき延長)、2階「ゆめサロン」で開催しました。

茨木市に関連ある戦争の傷跡のパネルや三島小の生徒が作成した「平和新聞」、地域の方から預かった遺品などを展示しました。

また、8月10日には、平和を願う「紙芝居」(「原爆の子 さだ子の願い」「トビウオのぼうやはびょうきです」)を野村 啓子さんから、戦争体験を元三島小学校校長の山崎 茂和さんからお話をいただきました。

「紙芝居」では、子どもたちも集中して聴いていて、「戦争は二度と起こしたくない!」などの感想がありました。また、「講話」では、懐かしい校長先生に会いに来られた参加者もおられ、平和の大切さを改めて確認する場となりました。



野村さんの語りに聞き入る子どもたち

(来館者メッセージ)

- ・戦争はとても悲惨だと感じました。これからは絶対に戦争は本当にいけないことがわかりました
- ・戦争では恐ろしいだけでなく、ピンがとけて、形がかわってしまうほどあつことがわかりました
- ・戦争では何人も人が亡くなって、戦争では何も解決しなかったので二度と戦争など起こしてはいけない

愛センターでは、夏企画として「ジオラマ製作」と「プログラミング」に挑戦しました。

ジオラマでは、基本的な模型づくりから始まり、参加者みんなの「好きなもの」「置きたいもの」の意見を集め、個性豊かな作品が完成しまし

た。9月に仕上げ作業を行い、完了後は館内にて展示を予定していますので、お楽しみに!

小学生向けプログラミング講座では、初めての作業に戸惑いながらも、パソコン画面を前にして、みんな真剣な表情。がんばって取り組んでいました。プログラムしたゲームができた後は、オリジナル要素を加えたりして楽しみました。

なお、プログラミング体験はお申込み多数のため、今秋より定期開催を予定しています。

秋からも定期開催決定。是非ご参加ください!



プログラミングに挑戦の子ども

夏企画
第2弾

「かんたん!」

プログラミングで遊ぼう

定期開催決定

夏企画第1弾 「フラモ・ジオラマ製作ワークショップ」

(7/20・27・8/17・24 9:00~12:00)

**皆さんそれぞれ個性ある作品が出来上がりました。
作品は9月に仕上げを行い、館内展示予定です。乞うご期待。**

